

平成 30 年度三重県防災会議及び
三重県石油コンビナート等防災本部員会議議事概要

1 開催日時・場所

日時：平成 31 年 3 月 12 日（火）10:00～10:50

場所：三重県庁 講堂

2 議事

(1) 開会

(2) 会長・本部長(知事)あいさつ

・定足数報告

三重県防災会議委員 出席 50 名／60 名

三重県石油コンビナート等防災本部員 出席 22 名／24 名

⇒会議の成立要件を満たす。

(3) 審議

- ① 三重県地域防災計画 地震・津波対策編 平成 31 年 3 月修正案について
- ② 三重県地域防災計画 風水害等対策編 平成 31 年 3 月修正案について
- ③ 三重県石油コンビナート等防災計画 平成 31 年 3 月修正案について
- ④ 三重県水防計画 平成 31 年度変更案について

以上の議案について、審議を行った。

【質疑等】

<NTT ドコモ CS 東海>

三重県はメールや Twitter・LINE などを災害時に早期避難に活用しているが、登録者数を増やすためにどのような取組を行っているか。

また、広域にわたる通信の復旧については、通信事業者同士の共助も必要だと考えているが、事業者ごとに復旧地区を割り振るなどの調整を県が行うことは可能か。

<事務局>

携帯電話販売店に PR チラシの設置を依頼したり、県教育委員会作成の防災ノートにアクセスするための QR コード掲載したりする等の情報提供を行っている。また、今年の伊勢湾台風 60 周年事業で子ども向けの取組も検討している。

通信事業者の調整については、情報を収集しながら機会があれば進めていきたい。

<中部電力>

今年度台風接近により三重県内でも大規模な停電が発生してご迷惑をおかけした。この経験を踏まえ、中部電力三重支店としては、コールセンターの増強などの体制強化、きめ細かくわかりやすい情報提供、自治体との情報共有の 3 本柱で対策を講じてきた。今後も関係機関と連携を密にして取り組んでいきたい。

第 1 号議案から第 4 号議案までの採決を行い、満場一致で承認。

(4) 報告事項

- ① 三重県広域受援計画の修正について
- ② 三重県版タイムラインの修正について
- ③ 三重県防災会議専門部会における検討状況について
- ④ 市町地域防災計画の修正状況について

【質疑等】

<津地方気象台>

取組の紹介だが、気象台はこれまでも災害時には県にリエゾンを派遣していたが、JETT（気象庁防災対応支援チーム）が創設され、都道府県や市町村の災害対策本部等へ JETT として気象庁職員を派遣することになった。

派遣された職員は、現場のニーズや各機関の活動状況を踏まえ、気象等のきめ細かな解説を行うことにより、地方公共団体や各関係機関の防災対応を支援するので、今後も関係機関と連携強化を図っていきたい。

(5) その他

なし

以上